

令和5年度危機管理対応訓練の実施結果について

1 災害対策本部運営訓練

(1) 目的

文京区地域防災計画、文京区職員防災行動マニュアル、文京区事業継続計画【震災編】等に基づき、勤務時間内に首都直下地震が発生した状況を想定し、災害対策本部編成員を対象として、災害対策本部運営訓練を行うことにより、職員の危機管理能力の向上を図る。

(2) 実施日時

令和5年12月14日（木）午後2時から午後4時10分まで

(3) 実施場所

文京シビックセンター15階防災センター等

(4) 訓練内容

都心南部を震源とする最大震度7（文京区は最大震度6強）の地震が発生したことを想定し、災対各部に付与される限られた情報に基づき、災害情報システムを活用の上、実際の活動をイメージしながら、必要な初動対応の検討を行う訓練を実施した。

(5) 訓練参加者（52人）

ア 区長、副区長及び教育長	3人
イ 災対各部の部長及び部長補佐等	21人
ウ 災対各部の編成員	28人

(6) 訓練参加者の意見・感想

- ・ 限られた付与条件を基に、想像力を働かせて対応を協議するという方法はよかった。
- ・ 定期的に参加する機会があることで、準備のための下調べを通して学び直すことができた。
- ・ マニュアルで事例の羅列を見るより、意外な想定を基にいろいろと考えることにより、自身が所属する部の業務の役割を意識することができた。
- ・ 災対各部で作業を行っているとな全体の動きがわからず、情報の共有不足が生じる気がする。
- ・ 災対各部間のやり取りがあったほうが、現実的な訓練としては、課題がより明らかに見えてくると感じた。

2 臨時災害対策本部編成員参集訓練

(1) 目的

勤務時間外に首都直下地震等が発生した状況を想定し、臨時災害対策本部の編成員を対象に参集訓練を実施することにより、初動態勢の迅速性向上を図る。

(2) 訓練内容

訓練対象者が職員参集システムにより安否状況及び参集状況を報告の上、自宅から参集場所まで、防災アプリにより参集経路における危険箇所等の写真投稿を行いながら、徒歩により参集した。

また、各自の勤務場所到着後、災害情報システムにより被害情報等の入力を行った。

(3) 実施日（指定日）

令和5年10月16日（月）、10月24日（火）、11月8日（水）、11月16日（木）、11月24日（金）、12月8日（金）及び12月21日（木）

※ 指定日に実施が困難な職員は、令和5年10月10日（火）から令和5年12月28日（木）までの任意の勤務日を代替日とする。

(4) 実施時間

勤務開始時間から参集場所到着まで（最長2時間まで）

(5) 訓練対象者

令和5年度臨時災害対策本部編成員 496人

(6) 訓練参加者の意見・感想

- ・ 実際の参集場所まで歩くことで、災害時にどのような危険があるか考える機会になった。
- ・ 実際の参集時に何らかの影響で通れない経路があることを想定し、最短経路だけではなく迂回できる道を知っておけるように回り道をしながら確認した。
- ・ 実際に歩いてみると参集場所に到着するまでに体力をかなり消費することがわかった。
- ・ 職員参集システム、防災アプリ、災害情報システムを実際に活用する機会となり経験できたことはよかった。
- ・ 参集場所へ到着後の業務についても訓練したいと思った。